

中学生の家庭学習について

中学生になったら、家でどんな勉強をすればいい？



中学生になったからといって、特別な勉強をすることはありません。

小学校と同じで、授業や教科書の内容が、理解できているかどうか大切です。



中学の3年間で→ **自分の勉強のやり方を見つけることが大切！**

まずは **60分学習すること** を目標にしましょう

※具体的にどんな家庭学習？

① 毎日の宿題 ② 復習 ③ 予習

○中学生の勉強法 = 自分のやり方を確立するために！

例えば・・・宿題に30分かけて、残りの30分はどんな学習をする。

- まずは計画（何曜日に何の教科をするか決める。1日1教科でも、1日2教科でもよい。）
- 時間の整理（例：トータル45分＝15分×3セット 20分×2セット 30分×2セット）
- ノートのまとめ方を工夫する
- ドリル練習は、丸付けに時間をかける。（どう間違えたか考える。）



予習や復習のやり方については、次ページをご覧ください。

家庭ではこんな勉強法を(アドバイス)

- 1 教材を限定して100%マスターする。
 - (1) 教科書の内容を理解する事から始める。教科書を読み、分かることが大切。分かったつもりにならない。
(群馬県は公立高校受検者が70%以上) →教科書は入試問題出典そのものである。
 - (2) 教材をできる限り少なくして、完全にマスターする。教科書の内容が理解できているか、確かめることができるのもワークへの取り組み(1つのワークを何度でも)
- 2 同じ内容を/同じ順序で/同じ所を繰り返す。
 - (1) 繰り返し法で最大の効果を上げる。
 - ①まずは解く。「できた!」という充実感を味わう。(できないのではなく、経験してないだけ)
 - ②期間を空けて、一度解いた問題をもう一度解く。(できないと悔しい→まとめ方を工夫するチャンス)
(覚える→忘れる→思い出す→忘れる→思い出す→・・・)この繰り返しが大切
- 3 大きな声で唱えながら書く
 - (1)口を使って覚えた記憶は確実に身に付く。→落語家の修行は、師匠の嘯を耳で聞いて、口を使って。
 - (2)唱えながら書いて覚えるのが理想的である。(口、耳、目、指、多くの感覚器を使って覚える。)
→「Sunday, Monday, Tuesday…」 「水・ヘイ・リー・ベ・ぼくのふね…」
「 $\sqrt{5}=2.2360679$ (富士山麓オーム鳴く)」
「人の世むなし(1467)応仁の乱」
「かる・かつ・く・(う)・い・い・けれ・〇」など

各教科の勉強の紹介

- 1 5科の勉強法〔基本編〕
 - (1)国語の勉強法 ※漢字や言語を覚えるコツは毎日、欠かさずに続けること。【時間をかけて】
 - ①毎日少しずつ漢字を覚える。小学校で学習した漢字は、書けるようにする。
 - ②知らない言葉や漢字があれば、すぐに調べる。(家に辞書を置いておく)
 - ②日頃から読書の習慣をつける。
 - ③新しく覚えた言葉を使って文章を書く。
(日記、新聞の社説に対する意見、物語の感想など)
 - (2)数学の勉強法 ※中1の正負の数、文字式、一次方程式が全ての基礎
 - ①途中の計算をきちんと書く。途中計算は頭で考えていることの見える化
 - ②図を描いて考える。できるだけ、比率を正しく描くくせをつけると効率が良い。
 - ③問題パターンを身に付ける。「この内容は、このパターン」と、問題パターンはほぼ決まっている。
 - (3)社会の勉強法
 - ①口で唱えながら書いて覚える。
 - ②多くの事項を覚えようとする際は、一つずつ覚えるのではなく、ひとまとめにして繰り返して覚える。
 - ③覚えたい範囲を1~3回読んだ後、できるだけ簡潔にまとめたサブノートを作り完全に覚える。
 - ④何度も繰り返し学習する。だいたいの内容は3回解くと、覚えられる。
 - (4)理科の勉強法
 - ①用語や基礎知識を教科書を使い覚える。
 - ②問題集を解いたり、各分野の関連事項をまとめる。
 - ③ポイント!知識は面で捉えること。
 - (5)英語の勉強法

- ①教科書を声に出して繰り返し読む。〔音読は覚える作業に効果的である。〕
 - ②基本文（教科書の右上に書き出してある英文）や新出単語は、スペルをよく見ながら、口で唱えて、その音を自ら聞いて、書いて覚える。
 - ③英検に挑戦する。（実力を測定する。）
- ※中1英語は、特に大切。→日本語の「ひらがな」学習と同じだと考えましょう。

2 5科の勉強法〔入試対策編〕

(1)国語の勉強法（※他教科と違い、はじめて読む文章をその場で理解する力が必要。）

- ①語彙を増やし、様々な伝え方ができるようにする。
- ②自分が問題を解いた後、正解と比べてどこが違うのかを検討する。
- ③過去問を解き、問題の答え方に慣れる。

(2)数学の勉強法

- ①教科書の公式・定理・例題の解き方等の総復習
- ②問題集での実践演習（入試問題集などを繰り返して解く。）

(3)社会の勉強法

- ①入試問題集（各自持っているもの）を繰り返し解く。
- ②分からなかったら教科書を読む。
または、「1・2年の総復習(地理・歴史)」に戻る。

(4)理科の勉強法

- ①教科書を読む。
- ②単元テストをやり直す。分からなかったら、教科書に戻り確認する。
- ③入試問題集やワーク（各自持っているもの）を繰り返し解く。
- ④日常生活を活用する。

(5)英語の勉強法

- ①教科書の単語の総復習（巻末の単語表を使うとよい）
- ②教科書の基本文の総復習
- ③教科書本文中の、自分の知らない〔覚えていない〕表現の総復習
- ④問題集

※①②で4分の3の内容はマスターできる。③は余裕のある人

※私立高校受験の場合は、受験校のレベルに合わせた問題集をこなして、問題量の多さになれておく必要がある。

